

組合創立80周年を迎えて

愛知県鍍金工業組合 TEL 052-352-0161

平成23年は、東日本大震災の発生、津波被害、福島原発のメルトダウン、台風による豪雨被害など次々と自然災害に見舞われました。

こうした中、愛知県鍍金工業組合は、創立80周年を迎えました。経済状況は大変厳しい状況でしたが、80周年記念事業を挙行致しました。

振り返ってみますと、愛知県のめっき業界の歴史は大変古く、明治末期には、すでに20名ほどの同業者により組合が組織され、大正12年には名古屋鍍金同業会が設立されたと伝えられています。資料に残されたものとしては、昭和6年5月の名古屋鍍金業組合の設立が最も古い組合組織ということになります。戦前、戦中、戦後の激動期とともに、何度か組織変更をかさねてまいりました。戦後は、中部鍍金工業協同組合として、更に昭和42年12月からは現在の愛知県鍍金工業組合に改組され、現在に至っております。

その間、幾多の激動の時代を乗り越えてまいりましたが、最近においては100年に一度とも言われる経済危機、サブプライムローンに端を発したリーマンショック、それに続くトヨタショック、非鉄金属の異常な高騰、加えて急激な超円高による海外生産シフトなど、立て続けに大変大きな波が日本経済を翻弄し、日本のものづくり産業は目まぐるしく変化しております。

モータリゼーションの波に乗り中部地区の産業も飛躍的に伸び、愛知県の製造品出荷額は34年連続日本一で推移しています。それとともに、めっき技術は「ものづくり」を支えるサポーターインダストリーとして、なくてはならない重要な基盤産業としての地位を確立し、めっき業界は生産性の向上、品質の安定、合理化などを積極的に追求してまいりました。

これからは、特に先行き見通しの立たない舵取りが非常に難しい時代ではありますが、日本経済の隆盛と新しい構築に向けてめっき技術は必要不可欠であり、めっき業界の活力が日本経済を活性化させ、新たな繁栄を築くことができると確信しております。

創立80周年の記念講演会・式典・祝宴は、平成23年10月22日に名古屋マリオットアソシアホテルにおいてご来賓ならびに組合員、賛助会員、従業員の皆さまをお迎えし、総勢300名の出席により盛大に開催することが出来ました。これも関係各位の御支援の賜物と深く感謝いたしております。

今後とも、名古屋商工協同組合協会の組合員の皆様と共に、この難局を乗り越って明るい未来づくりを目指して行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



【愛知県鍍金工業組合伊藤豪理事長の挨拶】